

## 設 立 趣 旨 書

2021 年 4 月 9 日

特定非営利活動法人 高齢者 IT 支援の会  
設立代表者 住所又は居所 茨城県龍ヶ崎市大徳町 5361-5  
氏名 寺田 雅史 印

### 1 趣 旨

国際連合が作った持続可能な開発目標 (SDGs) は、理念として「誰も置き去りにしない」を掲げている。この教室は当にその理念を高齢者に適応して「高齢者をデジタル時代に一人も置き去りにしない」を目標とする

特に SDGs 目標設定に携わったジェフリー・サックス教授が「新しいデジタル技術をプライバシーや政治・市民権に配慮しつつ生活水準の向上に役立てることで。」と言及した。その新しいデジタル技術が高年齢者および女性、経済的に困っている情報弱者に対し、役に立つまで教育を通じてサポートする。

それには IT 知識の教育でデジタルデバイドの壁を払い、スマホ、パソコン、ネット環境、セキュリティ環境、情報家電、スマートデジタルデバイスなど IT 機器を使いこなせるまで教育を継続提供する。このデジタル教室では受講者にデジタルリテラシーの向上を体得させるだけでなく、それを指導できるリーダーも育成する。最後まで人間らしい生活が営める IT リテラシー基盤を高齢者、情報弱者に提供する。

### 2 申請に至るまでの経過

#### 【2019 年】

- ・6 月 3 名で勉強会「デジタル教室」を開始。以後毎週教室を開催
- ・9 月 13 回目の勉強会からホームページを立ち上げる
- ・10 月 「老花光新聞」1 号を発刊
- ・10 月 「e ラーニング」コンテンツをホームページアップ

#### 【2020 年】

- ・1 月 ボランティアグループ「高齢者 IT 支援の会」を 10 名前後で立ち上げる
- ・1 月 市民活動センターを拠点として毎週 1 回「デジタル教室」を開催
- ・2 月 コロナ禍で「デジタル教室」閉鎖
- ・6 月 コロナ禍から解放されて「デジタル教室」再開
- ・7 月 38 回の教室からインターネットを介した ZOOM によるリモート教室を実施
- ・9 月 「老花光新聞」2 号を発刊
- ・11 月 「老花光新聞」3 号発刊
- ・11 月 SNSLINE グループ「デジタル教室」に登録した人が 30 名を超える
- ・12 月 「老花光新聞」4 号を発刊

#### 【2021 年】

- ・1 月 新聞名を「老花光新聞」から「デジタル希望新聞」に変えて 5 号を発刊  
発刊責任者を寺田から事務局に変えて再出発
- ・2 月 「デジタル教室」の参加者の 6 割が TV BOX を通じてリモート教室を受講
- ・2 月 「デジタル希望新聞」6 号を発刊
- ・2 月 検索エンジン Google、Yahoo、Bing、でサイト「デジタル教室」が 1 位を獲得
- ・2 月 サブリーダー育成を目指して各種研修会を実施開始
- ・3 月 NPO 法人設立に向けて検討会を実施